

## 学生と教員の見方

【学生の見方&考え方】  
(2年 金子文子)

私の住む千葉県船橋市東船橋地区では、約30年前に土地区画整理事業が行われ、地区計画の導入も後押しされて、整然とした街並みと高い生活利便性を持つまちが形成された。

地元住民は「ここ数年で

100人以上増えた気がする」と話しており、実際に

調べてみると、現在もなお町に別人人口データで増加傾向が見られ、地価も上昇している。人口が流入する郊外部がスプロール市街地となることを防ぐため、授業で学んだ通りに都市計画が行われ、良好な市街地が形

成されており、その効果を実感した。

しかし都市計画を學んで人口を奪ってしまう。都市計画の「光」としての成功の裏側には、人口の「奪い」本的には人口が増加する都市を対象として、都市環境が混乱することを防ぐ計画技術である。日本全体で人口減少が進んでいるのに、東京の近郊に位置する東船橋は人口が増えている。といふことは、

人口を奪われる側では若者

用機会は圧倒的に多く、中シティ政策」が進められて

小地方都市が人口を取り戻すことは容易ではない。地正化計画」がその役割を担つており、居住や都市機能空き地を魅力的な飲食店やイベント広場に再生させており、衰退した温泉街の魅

都計画が成功すればするほど、中小規模の地方都市

【教員による展開】

(小杉学教授)

日本全体で人口が減少す

生じている「シユリンキン

我が国的地方都市では、グシティ(縮小都市)」は細かく細分化された土地に

先進国で広く見られる。こ

の対策として、欧州では無

る「都市のスボンジ化」が

駆に広がり自治体の財政を

進んでいる。そこでは、む

しろ地域に分散する空き家

な時間が必要となる。

ことは、人口減少を前提と

して良好な市街地環境を形

し土地所有権が強い我が国

では、公共による強制力は乏しく誘導・集約には相当

な時間が必要となる。

した持続可能なまちづくり

をしようとしている。しか

め、明海大学が連携協定を結ぶ山形県上山市

では、産官学の連携で運営

するNPO法人かみのやま

ランダーバンクが、空き家や

空き地を魅力的な飲食店や

イベント広場に再生させて

おり、衰退した温泉街の魅

力再創造を図っている。

## 成功の裏に残る「影」

例として、明海大学が連

携協定を結ぶ山形県上山市

では、産官学の連携で運営

するNPO法人かみのやま

ランダーバンクが、空き家や

空き地を魅力的な飲食店や

イベント広場に再生させて

おり、衰退した温泉街の魅

力再創造を図っている。

## 都市計画と不動産③

【学生のアピールポイント】  
何気ない会話や日常の景色の中で、ちょっとした面白さを見つけるのが楽しみです。建築や美術にも関心があります。

【学生のアピールポイント】  
何気ない会話や日常の景色の中で、ちょっとした面白さを見つけるのが楽しみです。建築や美術にも関心があります。

【学生のアピールポイント】  
何気ない会話や日常の景色の中で、ちょっとした面白さを見つけるのが楽しみです。建築や美術にも関心があります。

【学生のアピールポイント】  
何気ない会話や日常の景色の中で、ちょっとした面白さを見つけるのが楽しみです。建築や美術にも関心があります。